



常念通り

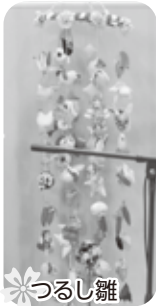
白板地区公民館
館報編集委員会
☎(35) 7740

三月十二日(土)ひなまつり会が、白板地区公民館大會議室に、四十名の参加で開催されました。

三月三日(木)に文化委員さんが多目的室等に飾りつけを行いました。

白板地区の食改さんの前日から仕込んだ、甘酒・おでんや、ちらし寿司等を、やまぼうしの演奏を聴きながら、おいしくいただきました。

四月五日(火)まで展示しています。



展示中 (4月5日まで)

おし絵雛

ハッピーキッズ 地域みんなで子育て支援

都市化の進展により、核家族化、共働きの増加など子供を取りまく環境は大きく変化しています。

白板地区福祉ひろばは、気軽に立ち寄り色んな人と出会える場所です。毎月第一水曜日の午前十時から「ハッピーキッズ」が行われています。就園前のお子さんや保護者の方が互いの交流を深めたり、子供同士が遊べる所です。歌のコンサートや演奏を聞いてリラックス。親子体操やミニ運動会は楽しみながら一緒に体を動かします。日頃、家事、育児等忙しい保護者の皆様にゆったりとした気持ちになっていただけたら嬉しいですね。

未来を担う子供達の笑顔や輝きが消えることなく、健やかに成長出来るように、大いに利用してほしいと思います。



公民館研究集会「第5分科会」 多様な連携による地域での子育て

二月十四日(日) M ウイングで公民館研究集会が開催され、第5分科会「今、地域・家庭・学校三者間の協力連携がなぜ必要か」に参加しました。

この中で寿地区の「CSふたむらへの取り組み」に感銘を受けました。中学生になると地域とのつながりがほとんどなくなってしまう。寿地区は中学生が自ら地域に出て行き住民の思い・声を持ち帰るなど学校の中では学べない社会教育が地域・学校と連携して推進することにより、住民との交流を深め、地域の伝統を知り、地域住民の一員として自覚することは災害等の時にすごい力になるのだと思います。塾や部活で忙しいのにこういう交流に参加する中学生はすごいと思います。他の地域でもこの取り組みが広がっていけば良いなと思います。

講座のお知らせ

- ★いけ花(全12回)★
【日時】4月18日
13時30分～
【申込み】定員になりました
- ★食育 食改料理教室★
お赤飯をつくってみませんか?
【日時】4月28日10時～
【申込み】4月15日まで
定員になり次第締め切ります。
- ★ウォーキングについては、
公民館だより4月号をご覧ください。



新春お楽しみ落語会



白板地区福祉ひろばで、一月二十七日(水)柳家さん光さんをお招きし、「新春お楽しみ落語会」が、七十五名の参加で開催されました。

軽快な出囃子で登場した、さん光さんは、少し風邪気味でガラガラ声ながら、最初から会場を笑いの渦に包み、身振り・手振りで話を進め、笑いと拍手が沸き起こりました。

演目ごとに、着物を替えて、「つる」「怪気の独楽」を披露しました。

声を出して笑うことは、健康にもいいことなので、楽しいひと時を過ごせたとおもいます。



ふれあい健康教室

白板地区福祉ひろばでは、二月十九日(金)、白板地区公民館大会議室で、「ふれあい健康教室」が開催され、参加者二十五名で速歩の体験等を行いました。まず、いきいき健康ひろば・古箏講師が、インターバル速歩の指導をしました。負荷をかけた運動をすることで、体力の維持・向上が図れるとのことでした。

普通の速さで歩き、次に速く歩くのを交互に繰り返して、三十分位行うと効果があるようです。次に、牧田講師は、股関節の運動をすることによって身体の矯正をして、正しい姿勢になり、正しい歩き方をする事で腰痛や血圧の改善・肩こり解消等に繋がるストレッチの指導をして下さいました。



ボウリング大会



白板地区体育協会と白板地区公民館共催のボウリング大会が、二月二十一日(日)、アピナボウル松本城山店で開催されました。信州大学の学生四名(蟻ヶ崎西町会)を含む子供から大人まで四十名の参加者で、それぞれ自分の力を精一杯出して楽しんでいました。

一年ぶりのボールの感触を楽しむ人や、力んでコントロールできなかったり、偶然・必然のストライクに歓喜したりと、思いのボウリングをして、日頃の運動不足の解消やストレスの発散が出来たと思います。最後に、成績順の豪華?賞品もあり、身も心もリフレッシュできた一日でした。

白板探検隊 シリーズ 25

貞享義民塚

昭和二十五年、丸ノ内中学校の建設工事中に、地下から多くの人骨が発掘され、調査の結果、貞享三年の加助揆の際に処刑された百姓達の十七体と判明し、ここが勢高刑場跡と分かりました。昭和二十七年供養のため「義民塚」



が建設されました。刑場は、松本城を見下ろす高台にあり、敢えて松本城天守閣を望む状況で処刑されたことが分かります。

一説には、江戸詰めであった鈴木伊織が、処刑に反対し、藩主から処刑中止の許しを得て、自ら騎馬で伝達に走り、松本に入った付近で乗馬が倒れ、鈴木自身も昏倒したため、処刑に間に合わなかったという。馬が倒れた場所は、「駒町」と名付けられ、倒れた馬を馬頭観音として祀っています。

次回より、白板探検隊特別編として数回のシリーズで信濃鉄道と北松本駅周辺を取り上げたいと思います。

卓球大会

三月六日(日)丸中柔剣道場にて恒例の「白板地区体育協会の卓球大会」が開催されました。

中学生との交流を目的に始められたこの大会は、今回も大勢の中学生が、地域の大人とペアを組みダブルス戦を楽しみました。

